



平成19年12月28日 発行 第48号

国際フィッシングショー2008開催せまる！！

●出展社説明会・小間割抽選会開催

10月4日(木)東京・エンパイアビル会議室において出展社説明会ならびに小間割り抽選会が開催されました。

●記者発表会開催

10月25日(木)東京・日本フィッシング会館において国際フィッシングショー2008記者発表会が開催されました。

●国際フィッシングショー2008イベント決まる

広報・見本市委員会(小島忠雄委員長)では、2008年2月8日より3日間パシフィコ横浜にて開催する『国際フィッシングショー2008』のイベントプログラムをご紹介します。

① 釣りファンに向けて実施するイベント

i. 第3回クールアングラーズ・アワード表彰式

公開インタビューをステージで公開します。

ii. 「フライフィッシングゾーン」が新登場

人気メーカーの出展の他、フライ名人による、タイピングデモ、キャストデモなど盛り沢山です。

iii. The Meijinの釣りドリームトークショー

iv. オリジナルの大型映像作品をステージにて上映

映像では、「フィッシングはエコロジーなスポーツなんだ!」のテーマにのっとり、日釣工はじめ、会員のエコロジーに対する取り組みなどを、一般の方々に分かり易く紹介します。

② 釣りファン育成のため実施するイベント

i. 「釣りはじめてクン広場」

本物のマス釣り体験、金魚すくい・ドジョウすくい・ザリガニ釣りなど、釣りを楽しめるイベント広場です。

ii. 「カンタン釣り塾」が登場

釣りをしたいけどどうしたらいいかわからない、釣りに興味を持った子供やお母さんを、誘導し実際の釣りへの第一歩を踏み出していただきます。

iii. 新鮮!お魚グルメパーク

iv. ワクワキ!ウキウキ!大抽選会

③ その他好評イベント

i. エコロジー工作所

ii. 魚拓コーナー

iii. 伝統工芸コーナー

iv. 水族館の人気おみやげ大集合

④ 第2回 アングラーのためのエコロジー標語大募集

CONTENTS

- ◆ J I S P O 関連記事..... P. 1
- ◆ 環境保全マーク (eマーク) P. 2
- ◆ 知的財産セミナー..... P. 3
- ◆ 釣用品の国内需要動向
(フォロー) 調査報告..... P. 3
- ◆ 会員クローズアップ..... P. 4
- ◆ J A F T M A U S A..... P. 5
- ◆ 会員動向..... P. 6
- ◆ 平成20年度総会・理事会会議日程表
..... P. 7

「(社) 日本釣用品工業会認定・eマーク事業」のご紹介

～ワーム、ライン、オモリ用品の認定登録状況～

(社) 日本釣用品工業会では、業界独自に設定した厳しい環境基準をクリアーした環境に優しい釣用品については、“eマーク”をつけ、お客様に提供する事業を展開しております。

この「eマーク事業」は、05年12月に事業細則を制定し、翌年1月より申請受付を開始しました。現在までに「eマーク」商品と認定されたのは、6社、30製品に上っております。

また、国際フィッシングショー2008での商品発表に向けて、3社4商品（釣り糸1商品、オモリ3商品）の申請手続きが現在進められております。

「eマーク」商品の認定基準の設定に関しては、釣場環境保全を踏まえ、主にライン、ソフトルアー、オモリ等の消耗品、小物製品を優先させておりますが、他の釣用品についても順次認定基準を設定し、eマーク商品を拡大していきたいと考えております。

また、この「eマーク」は釣具製品のパッケージおよび商品カタログ、雑誌広告、環境保護告知ポスターなどに主に表記されますが、釣り人に店頭で購入時に環境保全対策済みの製品であることが分かって頂けるよう、告知・PRを行ってまいります。

会員企業様におかれましては、是非、積極的なご参加をお願い申し上げます。

—

釣りビジョンへのCM放映

当工業会では、初めての試みとしてTVCMを計画しております。

当工業会の賛助会員である「釣りビジョン」様の絶大なるご協力もあって現在、鋭意CMを製作中です。

このCMは、日釣工の事業として活動している「環境保全委員会」から“eマーク”について告知・PRすることを中心にした内容と考えております。

この“eマーク”も事業として取組んだのは4年程前ですが、“eマーク”商品として第1号が認定されたのが昨年の12月で、ほぼ1年が経過しようとしています。

つい最近に申請された商品及び申請中の商品もあり、更に“eマーク”商品が増加している状況です。

しかしながら、一方で、この“eマーク”の存在とその意味することをご存知の釣り人がどれ位いるかは残念ながら疑問譜が付きます。

また、環境問題が叫ばれている昨今、わが釣具業界としては何としても他の業界に一步でも先駆けて環境対応をしていかなければなりません。

そのような中で、全ての釣り人にこの“eマーク”をまず知っていただく為に、環境保全委員会の主導の下、第1弾として、TVCMを作成・放映すべく活動しております。またこのCMフィルムは、来年2月のFショーのメインブース及び日釣工ブースでも放映する予定です。

現在の計画では、今年中にCMを完成させ、来年度（平成20年1月）から放映を予定しておりますのでどうぞご覧下さい。

尚、具体的な放映時間等につきましては、日釣工HP等でご確認下さい。

第2回・知的財産「模倣品対策」セミナー開催

知的財産委員会（大村一仁委員長）では、11月29日（木）、日本フィッシング会館8階大会議室で、「模倣品対策」に関する第2回セミナーを開催し、関係企業の担当者が35名出席頂きました。

今回のセミナーは、業界の知的財産に対する認識とモラル向上を目指すことを目的に、去る6月6日（水）に開催した入門セミナーに引き続き実践篇セミナーとして開催されました。また、このセミナーは、日本貿易振興機構（ジェトロ）模倣品対策事業との連携として実施するもので、講師には同ジェトロの知的財産課アドバイザーである服部正明氏を招き、「中国における意匠権の保護と技術流出防止」をテーマに講義されました。

セミナーでは、「中国の知的財産権制度の概要」、「中国における意匠権の保護」及び「営業秘密保護の手法」等について分かりやすく約2時間にわたって説明されました。

第11回釣用品の国内需要動向（フォロー）調査報告書の結果について

情報・調査委員会（山下整治委員長）では、昨年12月に「第11回釣用品の国内需要動向調査」の報告書を会員の皆様にお送りさせて頂きました。その後、委員会ではそのフォロー調査として、9月から10月にかけて第11回の調査にご回答頂いた企業様に再度調査資料をお配りし、フォロー調査にご協力頂きました。

ご回答結果について報告書としての取り纏めを行い、この度、「第11回釣用品の国内需要動向調査報告書（フォロー調査）」として発行することになりました。

来年の1月には会員企業様（フォロー調査ご協力企業様）に冊子をお送りすることになっております。

今回の調査は、2006年度（平成18年度）の実績値の把握と、2007年度（平成19年度）の予測値を把握することを主眼に行いました。

調査結果の概要について若干ご説明させて頂きます。

まず、2006年度「釣用品国内出荷規模」の実績については、前回調査値より若干アップし122,000百万円となり、前年比98.7%となりました。（第11回調査時での前年比は、98.2%と比較すると、+0.5%高めに修正された）

次に、2007年度の予測についても同様に、前回調査値よりアップし、123,840百万円となり、前年比101.5%となりました。（第11回調査時での前年比は、99.0%と比較すると、2.5%高めに修正された）これは、一部メーカーの「値上げ効果」が影響しているものと考えられます。

以上のように、数値では高めの結果がでておりますが、実感としては値上げ効果を差し引くと相変わらず厳しい状況は続いているものと考えております。

商品別等の詳しい内容は、調査報告書をご覧ください。

櫻井釣漁具株式会社

会員クローズアップ NO. 2

代表取締役社長 櫻井 孝行



第2回目となる今回は、創業120周年を迎える釣竿メーカーの櫻井釣漁具(株)のご紹介します。当工業会の理事、青年部会委員を務める櫻井釣漁具(株)の櫻井孝行社長をお訪ねしました。

本社 東京都千代田区鍛冶町1-8-1 神田サクラビル

TEL 03-3252-0711 FAX 03-3258-0678

URL : [http://www. Sakura-rod.co.jp](http://www.Sakura-rod.co.jp)

会社の沿革・概要

同社は明治21年に創業、曾祖父の時代から東京・大曲、現江戸川橋近くに店を構え、また昔神田川が江戸川と呼ばれたことを発端に、竿銘を江戸川とした竹竿造りが始まりです。

竹竿を造りながら、六角竿をアメリカに輸出。

昭和30年頃には、専門は和竿ですが、あえてグラス竿を積極的に取入れました。

その後、カーボンという新素材をも取入れ順調に事業を拡大しております。



特別製造江戸川ちぬ竿



全国のホームセンター等で扱われている新うるしは、釣竿だけではなく色々なクラフトで使用されています



釣竿になるのを待つ竹→

社長の一言

和竿屋からあえてグラスロッド、カーボンロッドを積極的に展開してきたことは、異論もあったと思います。代々、その時々を見据えた決断があればこそ。時代にあったものを早く取入れながら昔のものを大切にしておくことが大事であると感じています。ですので、弊社のルーツである竹竿は毎年生産しております。釣り自体が文化なので文化の継承をして行きたいです。

釣竿は、性能もありますが趣味性が非常に強く、お客様の数々の釣行の思い出が詰まっており、その釣竿が折れ故障したら悲しいことはよく解ります。当社では長期間の修理対応をさせて頂いております。昔の竿は、100%同じ調子とは言わないまでも近い調子で修理することを心がけております。

また、子供たちが生き物に触れるのはいいことだと思います。釣りをして魚をお家に持って帰り、捌いて食べるというのは食育にも役立つと思いますし、生活の一部として気楽に始めて欲しいです。

120周年を迎えられたのは、釣業界、釣り人がいてからこそ。釣り人・釣場環境を大切に、日釣工・日釣振の発展に少しでも力になればと思っています。

会社のトピックス

今年120周年を向かえ、10月10日(水)東京・上野精養軒において櫻井釣漁具(株)創立120周年記念式典が開催されました。釣業界から約200名が出席し盛大に執り行われました。

また、櫻井宏克会長による「釣竿造り一筋」の出版記念も併せて行われました。櫻井釣漁具の長い歴史に留まらず、写真や資料が豊富に掲載され、業界の歴史を知る上でも貴重な資料となる内容になっています。



<< JAFTMA USA >> ~国際通信~

ASAの2007年度総会が10月10日から12日の3日間、フロリダ州 Sanibel Herbor Resort Hotel で開催されました。総会には100を超える会員会社、関連団体そして政府関係より200人以上の参加者が有り、初日の各委員会会議から最終日の総合会議まで、現在USAでのSportfishingを取巻く状況説明と問題点の提示、そしてそれに対するASAの対応と活動の説明が有り、また今後の活動に対しての会員よりの提案等をワシントンの本部内とは違ったリラックスした中で建設的な討議が交わされました。また総会2日目より招待講演者によるセッションが各午前、午後により非常に盛り沢山のプログラムでアツと言う間に3日間が過ぎていた、というのが実感です。

それではスケジュールに沿ってASAの総会がどの様に進められたのかを紹介します。先ず殆どの参加者が総会一日目の前日にはホテルにチェックインされていますので初日は午前9時より5時まで各委員会会議が各々開かれます。現在ASAには9つの委員会と3つの部会が有り、各会議にはその委員会の会員でなくても興味のある会議に参加できます。例えば自身の属している委員会会議が午前中に終われば午後には他の会議がどの様な議題で進められるか傍聴できます。

初日の夜はプールサイドで歓迎レセプションが催され旧知のメンバーとの歓談、また新メンバーとの紹介等穏やかな雰囲気の中で親交を深めている様子が伺われます。

2日目はASA Mike Nussman 会長より、現在のASA全般の活動報告がありその後第一回目のセッション“過去、現在そして10年、20年先の釣り及び業界”と題してUSA内務省、US Fish & Wildlife Service 局が5年に一度行う全米釣り及びハンティング調査の2006年度の結果を基に、今後の釣り人口の増減、若年層の釣り離れへの対応策、そして今の大きな課題としてBaby Boomer（団塊世代）の10年後の生活状況についてディスカッションがありました。

午後は会場近くの国立ワイルドライフ公園へのツアーが有りフロリダ州特有の生物(マングロー樹林やドルフィン等)をガイドの詳しい説明にてより興味が増した感がします。この夜は夕食会が催され参加者達

は各々のテーブルで和気あいの楽しい時間を過ごしました。

最終日は午前公務でフロリダ州にお越しのKempthorne(ケープソン)内務大臣が多忙なスケジュールの中会場に駆けつけられ約1時間、内務省として深く関わる内水面、沿岸と釣り人との調和の重要性を理解すると共に、釣り好きの自身の家族のエピソード等から釣りが育む親子の絆等、如何に釣りが社会的に重要な役割を果たしているのかを協調され、この講演の後、近くの入江で釣りが出来るのをとても楽しみですと嬉しそうに語られたのが印象的でした。

大臣が退席された後、今回の総会で一番大きな議題でありましたカリフォルニア州で今年5月に制定されました、魚類保護と調査の為、沿岸、そして沖の群島周辺の釣り禁止区域の設定(カリフォルニア州沿岸の約10%)に対するASAとして反対活動の近況と今後の対策について報告が有り、全米の釣り関連団体及び調査、研究機関にも協力を求めこの法の撤回又は区域の縮小をカリフォルニア州政府へ強く要求していくとの説明があり、ASAメンバーもこの件に関してはASAに全面協力すると決議されました。

この件に関しましては日本のSolas条約による釣り場の規制とは全く異なった要因での禁止区域の設定でして、環境保護団体、州政府、そして釣り人、業界との三つ巴の状況ですので全米が今後の進展を注目しています。この件のもう少し詳しい状況を後日報告いたします。最後に昼食会を挿んで最終プログラムの総合会議にて昨年の議事録が承認され、来年の開催地テキサス州での再会を期し、会長のお礼の言葉で総会が終了いたしました。

今年の総会に出席しての感想としましては、ここ2、3年出席者の年齢層が若くなっていてUSAでの釣り業界の世代の交代時期が来ているように感じます。また政府関係(内務省、各州の釣り、魚類関連局)の参加が増えており、ASAが単体とでは無く政府関係者よりの協力を得て官民一体と成ってのSportFishingの発展に努力している様子が非常に感じます。

JAFTMA USA 西岡 俊夫

会 員 動 向

※第82回理事会で次のとおり加入2社・退会1社が承認されました。

<入会会員>

- ◆株式会社下田漁具 代表者 宇都宮 正員
〒415-0022 静岡県下田市 2-5-9 TEL0558-22-0966 FAX0558-22-2299
- ◆有限会社サウスウインド 代表者 石田 博史
〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通 4-23 相模ビル 1-1 TEL045-222-1322 FAX045-222-1322

<退会会員>

- ◆株式会社キロワールド 代表者 品川 博司
〒603-8202 京都府京都市北区紫竹東桃ノ本町 15-1 TEL075-495-3966 FAX075-495-5085

※新役員就任のお知らせ

- ◆株式会社ヤマリアの代表取締役会長に山下 整治氏が就任され、代表取締役社長に奥村 稔氏が就任されました。
- ◆株式会社ワイズギアの 代表取締役社長に潮見 眞輝氏が就任されました。
- ◆ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社の 代表取締役社長にリチャード・L・ギルフォイル氏が就任されました。また、本社を下記に移転しました。
〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2 茅場町タワー Tel 03-3537-8123 Fax 03-3537-8124

※組織変更等のお知らせ

- ◆株式会社オージーケー販売は、株式会社グレンフィールドに改組、代表取締役社長に高原智彦氏が就任されました。
- ◆工房剛樹は株式会社剛樹に変更されました。

☆☆☆☆☆☆ 事務局だより ☆☆☆☆☆☆

- ・今年もあと残り少なくなりましたが、今年1年を振り返ってみて皆様は如何感じますでしょうか？ 今年1年の世の中の出来事は、今までには想像できなかった出来事・事件が多かったように感じました。
- ・日釣工のこの1年は、昨年に引続き、委員会活動を中心に事業展開を行い、今年は、昨年検討した結果をアウトプットする年度と位置づけ、委員の皆様の絶大なご協力により「すきすきフィッシング」(小冊子)を始め、「安全表示のガイドライン」(第4版)、「第11回国内需要動向調査報告書(フォロー調査)」等々を発行することが出来ました。
- ・調査結果によれば、2007年度の釣具市場は、値上げ効果により前年比若干アップした“101.5%”と予測されております。値上げ効果を差し引くと、昨年並みか若干マイナスの厳しい状況だと思いますが、ほぼ底を打ったかなと思いたいです。
- ・引続き楽観を許さない状況が続くと思いますが、来年は“明るくなる年”と期待して新年を迎えたいと思います。
- ・来年も、日釣工事務局に対しまして倍旧のご支援とご協力を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

事務局の
 年末年始のお休みを下記のとおりとさせて
 頂きますので宜しくお願いいたします。
 平成19年12月29日(土)より
 平成20年 1月 6日(日)まで

JAFTMA
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION
社団法人 日本釣用品工業会
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館
 TEL 03(3555)0101(代表) FAX 03(5542)2929

平成20年度 (社)日本釣用品工業会理事会および総会日程表

平成20年度、理事会および総会の日程は下表のとおりです。

	(社)日本釣用品工業会		全国釣竿公正取引協議会		(財)日本釣振興会		釣用品関連 ショー・催事
平成20年1月					地区支部長会	23日(水)	
2月							フィッシングショー OSAKA2008 インテックス大阪 2月1日(金)～3日(日) JISPO2008 パシフィコ横浜 2月8日(金)～10日(日)
3月	第57回常任理事会・第84回理事会	6日(木)	第112回理事会	5日(水)	常任理事会・理事会	26日(水)	
4月							
5月	第58回常任理事会・第85回理事会 第16回通常総会 (第86回理事会)	29日(木)	第113回理事会 第24回通常総会	28日(水)	常任理事会 理事会 第39回評議員会	14日(水) 30日(金)	
6月							EFTTEX 2008 EU(イタリア・ローマ)6月13日(金)～15日(日)
7月	第59回常任理事会	24日(木)			常任理事会・地区支部長会	2日(水)	ICAST2008 米国(ラスベガス)7月16日(水)～18日(金)
8月							
9月	第60回常任理事会・第87回理事会	11日(木)	第114回理事会	24日(水)	常任理事会・理事会	25日(木)	
10月							
11月							
12月	第61回常任理事会・第88回理事会	18日(木)	第115回理事会	19日(金)	常任理事会・理事会	3日(水)	
平成21年1月							
2月							フィッシングショー OSAKA2009 インテックス大阪 2月6日(金)～8日(日) JISPO2009 パシフィコ横浜 2月13日(金)～15日(日)
3月	第62回常任理事会・第89回理事会	19日(木)	第116回理事会	18日(水)			